

多賀城高等学校

校訓 さとく ゆたかに たくましく



1 基本データ

創立：昭和51年4月
課程・学科：全日制課程・普通科，災害科学科
生徒数：816名
所在地：〒985-0831
多賀城市笠神二丁目17番1号
TEL：022-366-1225
FAX：022-366-1226

ホームページアドレス：
<https://tagajo-hs.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：
tagajo-hs@od.myswan.ed.jp
主な交通機関
JR仙石線 下馬駅下車 徒歩20分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

誰にでも未来を創る能力がある

本校では「さとく・ゆたかに・たくましく」の校訓のもと、生徒と教員が「誰にでも未来を創る能力(ちから)がある」ことを共に確信し、これからの厳しい社会を生き抜いていくための土台となる「最後まで諦めずに頑張る力」の育成を目指して、進路目標達成を実現できるよう全力でサポートします。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

仙台市の北東部に隣接する史跡の街、多賀城市に昭和51年に創設された全日制普通高校で、1～3学年普通科6クラス(240名)、災害科学科1クラス(40名)編制、男女ほぼ1:1の共学校です。

JR仙石線下馬駅より徒歩20分の距離にあり、閑静で緑豊かな環境に立地しています。

施設は、4階建て校舎、体育館、柔剣道場、約300人収容可能な大講義棟(iRis Hall)、部室棟や部活動の合宿、学習合宿などに利用できるセミナーハウスがあります。

また、野球、サッカー、ラグビー、ソフトボール、陸上などが同時に活動可能な大きなグラウンド、全7面のテニスコートを備え、恵まれた環境でのびのび活動ができます。

(2) 教育方針

21世紀を担う人物の育成という観点に立つて、高い知性、豊かな情操、すぐれた徳性、強い意志と強健な身体をもち、広い視野をもって社会、国家に貢献する人物を育成することを方針としています。

次の3つの教育目標を定めています。

1 知性の伸長(さとく)

自己のもつ可能性を見出して、その伸長と実現を図るとともに、真・善・美を追求し、常に広く調和のとれた教養を身に付けるよう努める。

2 人格の尊重(ゆたかに)

正しく自己を愛し、他も愛する豊かな愛情を育て、社会に奉仕する精神を養い、互いに信頼しあえる誠実な人となる

よう努める。

3 心身の健康(たくましく)

心身の健康こそはすべての生活の根源である。清潔で健康な生活を送ることを心がけるとともに進んで心身を鍛え、明るく清くどんな困難にあってもくじけない強固な意志と強靱な体力を身に付けるよう努める。

(3) 教育課程の特徴

年に4回程度土曜日に授業を行い、週当たりの教科単位数を31時間としています。また、平成30年度より、文部科学省より「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業」の指定を受け、持続可能な未来を創造する科学技術人材を育成するためのカリキュラム開発を行い、学際的な視点で発展的な学習を行い、将来科学技術を基盤とする分野で高いリーダーシップを発揮し、世界的にも活躍できる人材と地域社会を活性化するイノベーターの育成に取り組んでいます。

<普通科>

1年生では、基礎科目(国語 数学 英語)に重点をおき、標準単位より1単位増で学習します。2年生では、文系・理系に分け進路に合わせて地理歴史と理科での選択を設定しています。3年生では、大学進学を基本とした文理2類型及び進路や興味・関心にあわせて学校設定科目を設置しています。

<災害科学科>

自然災害を科学的にとらえる知識や技能を身に付けることを目的とし、被災後の復興を担う人材を育てることを目的として、平成28年4月に開設された新しい専門学科です。

普通科における教科・科目をベースとして科学的な学校設定教科・科目を多数組み込んだカリキュラムとなっています。また、学外の研究機関(独)防災科学研究所、海洋研究開発機構、JAXA等)や大学(東北大学、東北学院大学等)と連携して行われる巡検と呼ばれるフィールドワークや県外の研究施設への宿泊研修など、最先端の研究に関わる研究者との交流を持てることも特徴となっています。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

進路関係行事として、長期休業中の課外講習や3学年の平常講習、土曜ゼミナール、学習合宿等の学力向上に向けた取り組みと、大学による出前授業、社会人講話やディベートがあり、多くの学習、経験をしながらそれぞ

れの第一志望進路の実現を目指しています。

生徒会活動は大変活発であり、特に中心となるのが、本校の3大行事である「球技大会」、「多高祭」、「体育祭」です。これらの行事は、有志生徒による実行委員会が企画・運営を行います。

部活動も、「個性追求の場」として、生徒主体の意欲あふれる熱心な活動が行われており、全国大会や東北大会に出場している部や地域に貢献している部などがあり、多くの部が活発に活動しています。

<運動部>ラグビー、サッカー、ソフトテニス、野球、陸上、ソフトボール、山岳、バレーボール、卓球、剣道、バスケットボール、テニス、水泳、柔道、バドミントン、弓道
<文化部> 写真、科学、合唱、軽音楽、吹奏楽、美術、茶華道、語学研究、家庭、放送、情報処理、ボランティア同好会

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R1	H30	H29
国公立大学	58	43	44
国公立短大	1	0	0
私立大学	153	147	172
私立短大	11	9	11
専各学校	29	37	24
就職	7	7	5
その他	17	21	21
卒業生計	276	264	277

主な進路先(令和2年3月卒業生)、
()内は人数 (1)は省略。

<国公立大学>

宮城教育大(5)、宮城大(18)、弘前大、岩手大(6)、秋田大、山形大(15)、福島大(5)、宇都宮大、信州大、富山大 他

<私立大学>

東北学院大(60)、東北福祉大(30)、東北医科薬科大(2)、東北工大(9)、宮城学院女子大(11)、東北芸工大(2)、日本大、関西大、東海大(2) 他

<専修各種学校>

仙台医療センター附属看護(2)、石巻赤十字看護専門(3) 他

<就職>

仙台市職員、法務省、民間 等

<その他>

防衛医科大学校 他

3 入試情報

各学科の求める生徒像及び選抜方法等の詳細については、「求める生徒像・選抜方法一覧」を御覧ください。

(1) 第一次募集について

イ 学科別の募集定員及び各選抜における選抜人数等

学科	募集定員	選抜人数等			
		共通選抜		特色選抜	
		割合	人数	割合	人数
普通科	240	60%	144	40%	96
災害科学科	40	60%	24	40%	16

ロ 選抜順序

＜両学科共通＞ 特色選抜 → 共通選抜

ハ 第2志望とすることができる学科・コース

＜普通科＞ 災害科学科
 ＜災害科学科＞ 普通科

ニ 共通選抜及び特色選抜について

共通選抜

学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。

相関図での学力検査点と調査書点の比重

＜両学科共通＞ 学力検査点：調査書点 = 6：4

特色選抜

＜普通科＞

学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。

＜災害科学科＞

学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。

配点

学科	調査書	学力検査	面接・実技・作文	合計
普通科	195点 ※音楽・美術・ 保体・技家の評 定を2倍	500点	なし	695点
災害科学科	195点 ※音楽・美術・ 保体・技家の評 定を2倍	600点 ※数学・理科の 得点を1.5倍	面接 3段階評価 ※個人面接、5 分程度	795点

(注) 倍率1倍については、記載を省略しています。

(2) 第二次募集について

次の検査の点数を基に、総合的に審査し、選抜する。

配点

学科	調査書	学力検査	面接・実技・作文	合計
全学科共通	195点 ※音楽・美術・ 保体・技家の評 定を2倍	300点 ※国語・数学・ 英語 各100点 満点	面接 3段階評価 ※個人面接、 10分程度	495点

(注) 倍率1倍については、記載を省略しています。

(3) 過去の入試実施状況について (参考)

過去3年間の学科コース別・出願者数・合格者数

学科	年度	R2	R1		H30	
			前期	後期	前期	後期
普通科	出願者数	321	219	207	225	229
	合格者数	240	72	168	72	168
災害科学科	出願者数	41	43	15	24	10
	合格者数	40	16	24	17	8

(4) 令和2年度転編入学試験について

日程	対象学年	試験科目等
令和2年 9月29日	全学年	国・数・英・面接
令和2年 12月16日	全学年	国・数・英・面接
令和3年 3月23日	新2・3学年	国・数・英・面接

4 写真で見る学校生活



＜校舎＞



＜制服＞



＜球技大会＞



＜多高祭（文化祭）＞



＜体育祭＞



＜災害科学科（女川巡検）＞



＜外部講師を招いた特別授業＞



＜仕行式＞



＜吹奏楽部定期演奏会＞



＜ボランティア活動＞